

『施設整備に向けた調査』の 内容及び取組状況などについて

令和2年1月
高知県

「施設整備に向けた調査」の概要及び進捗状況等について

(1) 建設予定地周辺の測量【業務完了予定 令和2年8月頃】

概要

- 建設予定地周辺の地形の起伏などの状況を現地において測量して、図面を作成。
- その図面をもとに、新たな施設の基本計画（施設の配置など）や基本設計を策定。

進捗状況

- 昨年9月下旬から、現地での状況確認を実施し、測量作業に着手しており、12月中旬で「測量に必要な基準となる点（基準点）」の設置が完了。
- 11月下旬から、平面図等を作成するための現地測量を実施しており、1月中には平面図の作成が完了する予定。この作成した平面図により、現在、同時並行で実施している基本設計において、施設の配置計画等を策定していく予定。
- 基本設計において、施設の配置計画が策定された後は、その計画に応じた横断図、縦断図を作成していく予定。



測量の作業状況



測量に必要な基準となる点の設置状況



(2) 建設予定地の地質調査・地下水調査【業務完了予定 令和2年8月頃】

概要

- 建設予定地において、ボーリング調査やボーリング孔の中に小型カメラを入れて、地下の地質の分布（例：粘土層、石灰岩層）や亀裂の状態を確認する。 ※ ボーリング掘削予定深度50m（9箇所）
- 設置した孔を観測用井戸として利用して、地下水が流れている地層や各井戸の地下水位の差等を調査し、地下水の流れを確認する。
- 建設予定地の地質は主に石灰岩であるため、地盤に一定の間隔で多数の電極（電気を流す棒）を配置し、電気を流すことによって、「地盤の電気の流れやすさ（比抵抗）」を測定し、空洞の探査を実施。
- 比抵抗の値は、地質の種類等により異なり、固い岩盤の場合などは、電気が流れにくくなり、比抵抗の値が高くなる。また、「水のない空洞」の場合も電気が流れにくく、比抵抗の値が高くなる。
- その結果と、建設予定地内の地質状況を踏まえ、比抵抗が高い場所が空洞なのかを確認する。
- 仮に、空洞と疑われる場所が出た場合は、その場所において、追加でボーリング調査を実施するとともに、小型カメラを孔に入れ、実際に空洞なのか、空洞であれば、大きさがどの程度あるのかなどについて詳しく調査を実施。
- 地質調査・地下水調査の結果をもとに、新たな施設の基本計画（施設配置、建物の基礎の位置・深さなど）や基本設計を策定。



進捗状況

- 昨年10月下旬から12月上旬にかけて、現地での状況確認や現地踏査を行い、「地質状況の確認」、「電気探査（空洞の探査）」や「ボーリング調査」を実施する位置等の検討を実施。
- その後、「電気探査」を12月中旬から実施しており、1月下旬には現地での作業を完了させる予定。その後、得られたデータについて、解析を実施し、ボーリング調査の結果等も踏まえて、3月頃にかけて、地下の空洞の有無について確認を行う予定。この確認に際しては、委員の皆様へ解析データや調査結果等をお示し、客観的な視点により、ご意見をいただく予定。
- 「ボーリング調査」についても12月下旬から実施しており、3月頃までに現地での作業は完了させる予定。その後、調査により得られた地質のデータから、地盤の状況について解析を行い、基本設計に反映を行っていく予定。
- なお、ボーリング調査完了後は、設置した孔を観測用井戸として利用して、地下水の状態を調査し、地下水の流れを調査していく予定。



電気探査の作業状況



ボーリング機械の設置状況



ボーリング調査の状況（令和2年1月20日時点）

○ 現在、9箇所中の1箇所目（建設予定地内の平らな土地部分の中央付近）の調査を現地で実施中。
（掘削の深さ予定50mのうち深さ約23mまで掘削）

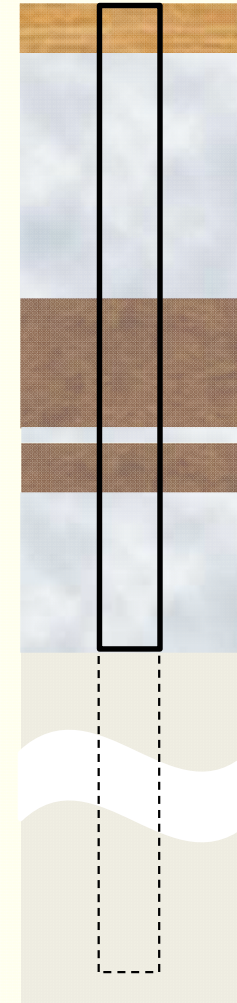


ボーリング機械の設置場所



地質の状況

地表



表土（礫が混じった土）
1.75m

石灰岩 8.95m

泥岩 4.78m

石灰岩 0.27m

泥岩 1.85m

石灰岩 5.70m

残り約27mを掘削予定

(3) 施設の基本計画・基本設計【業務完了予定 令和2年8月頃】

概要

- 測量や地質調査・地下水調査の結果を踏まえ、管理型産業廃棄物最終処分場の基本計画・基本設計を策定。
- 基本計画では、施設の配置、遮水の方法、浸出水処理施設（水をきれいに処理する施設）の構造等を計画を策定。また、雨水による下流域への影響を防止するため、「防災調整池（雨水を貯める池）」の位置や規模について計画を策定。
- 今回、整備する施設の構造等について、以下の方針で計画を進めている。
 - ・計画する遮水構造については、国の基準（2重）を上回る構造とする。
 - ・計画する構造物については、南海トラフ地震で想定されている最大クラスの震度を上回る地震にも耐えることができる構造とする。
 - ・また、水が漏れてないことを確認するための最新の技術の導入などについて、委員の皆様のご意見などを踏まえながら、計画を策定していく。
- 基本設計では、基本計画で計画した内容から施設の構造等の基本的な図面を作成。

進捗状況

- 「エコサイクルセンター」へ持ち込まれている産業廃棄物と同様のものを新たに整備する施設に受け入れることとしており、「エコサイクルセンター」における廃棄物の種類毎の搬入量の実績等から、新たな施設における廃棄物の種類毎の搬入量を推計する作業を現在、実施中。
- 埋立処分場や浸出水処理施設などの各種施設の配置について、昨年11月中旬に現地踏査による状況確認をした上で、既存の地形図を用いて検討を開始。今後は、測量により新たに作成した平面図に基づき、より詳細な配置計画を策定する予定。
- 配置計画を策定した後は、施設の構造等について比較検討を実施していく予定。
- また、現地踏査により、建設予定地の自然環境についても、状況確認を実施。今後、現地踏査等や別途発注を予定している環境影響評価の結果等を踏まえ、施設を計画するにあたって守るべき基準等を整理し、環境保全目標についての検討を進めていく予定。

(4) 環境影響評価【業務完了予定 令和3年3月頃】

- 環境影響評価とは、大規模な開発事業等を実施する際に、事前に、事業者がその事業が周辺環境に与える影響を調査・予測・評価し、その内容について住民の皆様や専門家等のご意見をお聴きし、環境保全について適正な配慮をするための一連の手続きのこと。
- 12月県議会において、管理型最終処分場を整備することに伴う環境影響評価に係る費用を補正予算として認めていただきましたので、本年2月頃から現地での調査を実施できるよう、現在、入札手続き等を実施中。
- 調査項目等について、本日、委員の皆様以案（資料5～5-3）をお示しさせていただき、頂戴したご意見を踏まえた上で、決定し、調査を実施。

「施設整備に向けた調査」などに関する実施スケジュール

調査内容等	四半期		R元年度			R2年度			R	~	R
	2 (8,9月)	3 (10月~12月)	4 (1月~3月)	1 (4月~6月)	2 (7月~9月)	3 (10月~12月)	4 (1月~3月)	3		5	
施設整備専門委員会の開催			第1回	取組の進捗状況に応じて、意見の個別聴取	第2回	施設整備に係る取組等により得られた調査結果について、「委員会」の場や「個別説明」において、ご説明した上で、ご意見を頂戴します。頂いたご意見は今後の調査や施設整備に反映していきます。					
施設整備	測量	(基本計画等に必要な測量の実施) (施設配置等を踏まえた測量の実施)									
	地質調査・地下水調査	[基本計画等に必要な地盤の状況や空洞の有無について調査] [施設配置等を踏まえた調査]									
	施設の基本計画・基本設計	(基本計画(施設の配置、遮水の方法等)の策定) (測量、地質調査等の結果を踏まえた基本設計の策定)									
	環境影響評価	(四季を通じた現地調査の実施) (評価の実施)									
【参考】	進入道路の再検討	概略設計(複数のルート案の選定、比較検討) 案について、地元との協議			ルート決定	予備設計(詳細な道路位置の案の作成) 案について、地元との協議			位置の決定	実施設計(道路の構造形式等を選定) 案について、地元との協議	
	井戸の状況調査、水質検査	(設置状況の調査) (利用状況の調査、水質検査) 支援スキームについて、庁内、町との協議			補助創設	町による水道引き込み工事に対する支援					
周辺安全対策	国道33号交通安全対策	交差点改良等について、県と国で連携して、実施に向けた検討を進める									
	河川改修に向けた測量・概略計画策定	河川等の測量 (現地調査) (改修概略計画策定)			詳細設計(改修計画の策定)						
増水対策	土砂の掘削	土砂の堆積状況の確認 河床に溜まった土砂の掘削			土砂の堆積状況の確認、状況に応じて対応を検討						

施設本体工事着工 ~ 施設完成